SP605 Series

ペンスキャナ

取扱説明書

1．0a 版

対応機種型番：

SP605KB　（PS/2 キーボードウェッジ）

SP605USB　（USB キーボード）

はじめに

このたびはペンスキャナ SP605 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、SP605 シリーズの外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて SP605 シリーズを使用する前に必ずお読みください。

ご注意

（1）本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。

（2）本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

（3）本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。

（4）本書に基づいて SP605 シリーズを運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださるようお願い申し上げます。

梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱して以下のものが揃っているかご確認ください。

もし、不足・破損などがありましたら、ご購入先の販売店または巻末の弊社担当窓口までご連絡ください。

・SP605 シリーズ スキャナ　1
・取扱説明書（本書）　1
・保証書　1
・ユーザ登録書　1

商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

目次

セットアップ

SP605KB のセットアップ（PS/2 キーボードウェッジインタフェース）

※スキャナを PC に接続するときは、PC の電源が切れた状態で作業してください。
　PC の電源が入っている状態で作業すると、スキャナまたは PC が故障する恐れがあります。

（1） インタフェースケーブルのオス側のコネクタを PC 本体のキーボードポートに接続して、もう一方のメス側のコネクタをキーボードのケーブル先端のコネクタに接続します。

（2） PC の電源を入れます。
正しく接続されていれば、スキャナのブザーが鳴り、スキャナに電源が供給されたことを知らせます。
ブザー音が鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、巻末に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。

（3） 読取りテストを行います。
文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、以下のテストバーコードを読取ります。

テストバーコード

カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

SP605USB（USB キーボードインタフェース）のセットアップ

（1）　ドライバのインストール

SP605USB を初めて PC に接続する際､｢USB ヒューマン インターフェイス デバイス｣ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows98SE での画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。

OS によっては、自動でインストールが進む場合もあります。

ａ）PC に電源を投入し、Windows を起動します。

ｂ）スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。

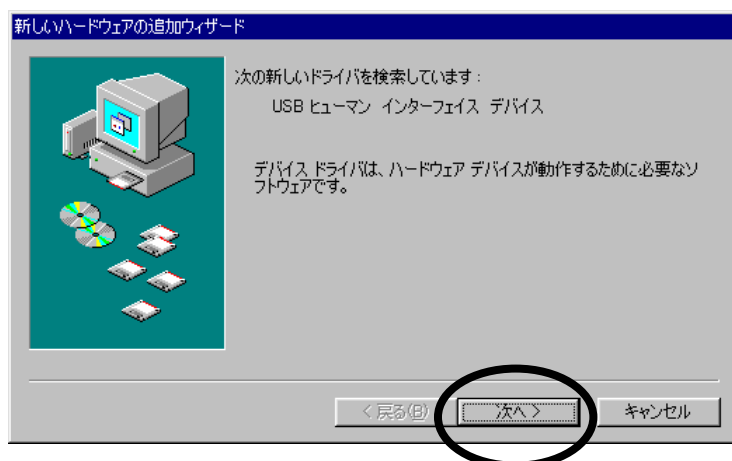
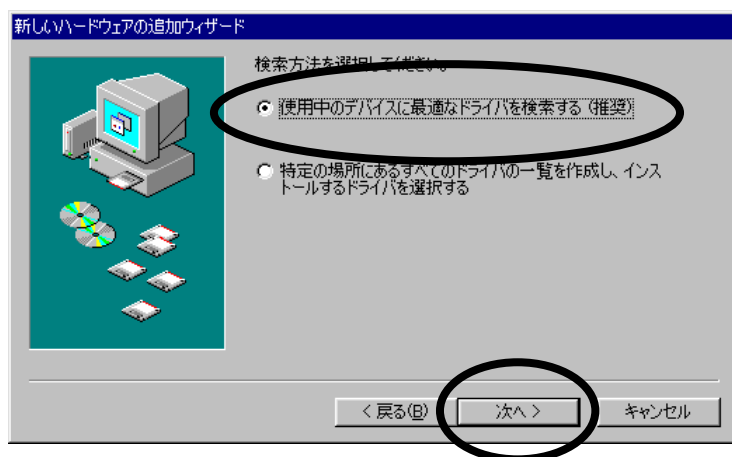
※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。USB ハブを使用した場合、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせて頂いておりますのでご了承ください。

ｃ）スキャナ本体のブザーが鳴ります。

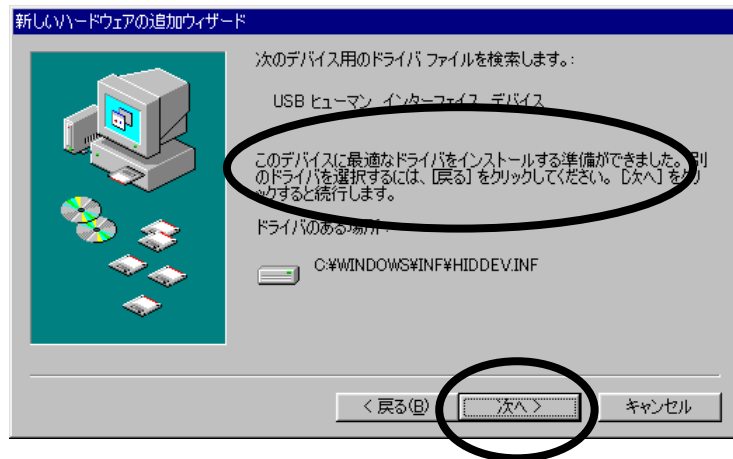
※ブザー音がまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、巻末に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。

d)PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒間表示された後､｢新しいハードウェアの追加ウィザード」のダイアログが表示されます。

※OS によっては自動でインストールが進む場合もあり､｢新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合もあります。その場合は、手順　ｊ　に進み｢デバイス　マネージャ」を確認してください。

ｅ）｢次へ」ボタンをクリックします。

ｆ）「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

ｇ）チェックマークは付けずに、「次へ」ボタンをクリックします。

このとき、Windows オペレーティングシステムの CD-ROM を要求される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

ｈ）「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

ｉ）「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。

なお、このインストール手順の ｃ ～ ｉ は、２回繰り返される場合があります。

ｊ）「デバイス マネージャ」に、次のように表示されているか確認します。

・「キーボード」に「HID 互換キーボード」（または同様の表示）

・「ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」

（または同様の表示）

※これらの表示は、スキャナを接続している間だけ表示されます。

（２）読取りテストを行います。

文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、次のテストバーコードを読取ります。

テストバーコード

カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。

この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

※手順 1 の j で 「デバイス マネージャ」に必要な項目が表示されているにもかかわらずスキャナが動作しない、または動作はするが読み取ったデータが表示されない場合は、スキャナのケーブルを PC から一旦抜いて、再度差し込んでください。

設定手順

１．設定したい項目の設定バーコードを読取ると、即座に設定変更が反映されます。

２．『リセット』バーコードを読取ると、直前に設定した項目の変更を取り消し、変更前の状態に戻すことができます。

リセット

工場出荷状態に戻す

次のバーコードを読取ると、工場出荷状態に戻すことができます。

工場出荷状態に戻す

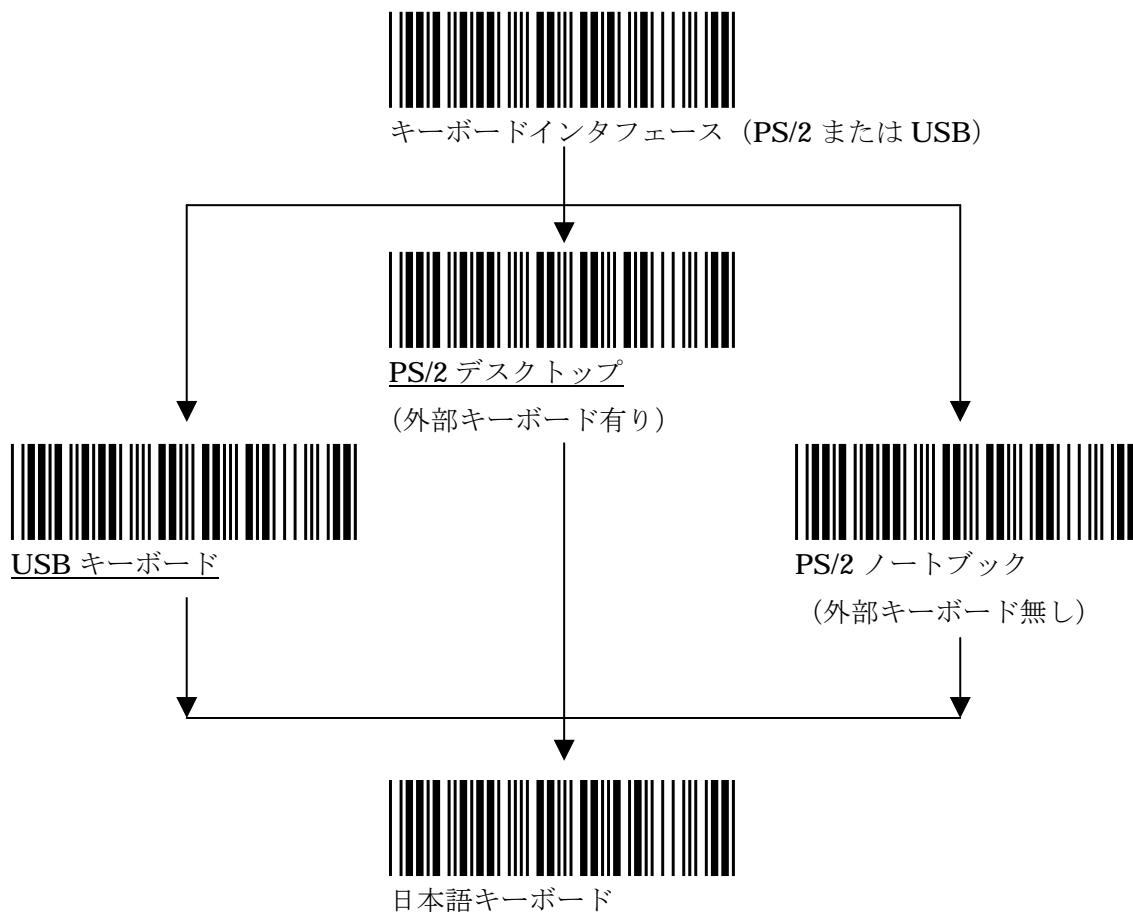
※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、『工場出荷状態に戻す』バーコードを読取ったときに設定される項目です。

※ 『工場出荷状態に戻す』バーコードを読取ったあとは、必ず次項『インタフェースの設定』も行なってください。

インタフェースの設定

キーボードの国別設定

日本語キーボード

英語キーボード

バーコードシンボル体系の設定

すべてのシンボル体系

すべてのシンボル体系を有効にする

すべてのシンボル体系を無効にする

JAN/EAN 13 桁

JAN/EAN 13 桁有効

JAN/EAN 13 桁無効

JAN/EAN 8 桁

JAN/EAN 8 桁有効

JAN/EAN 8 桁無効

UPC-A

UPC-A 有効

UPC-A 無効

UPC-E

UPC-E 有効

UPC-E 無効

コード 39

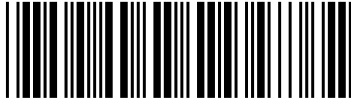
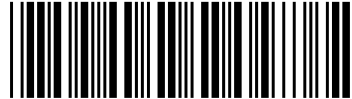
コード 39 有効

コード 39 無効

コーダバー（NW7）

コーダバー（NW7）有効

コーダバー（NW7）無効

インタリーブド 2 オブ 5

インタリーブド 2 オブ 5 有効

インタリーブド 2 オブ 5 無効

インダストリアル 2 オブ 5

インダストリアル 2 オブ 5 有効

インダストリアル 2 オブ 5 無効

マトリクス 2 オブ 5

マトリクス 2 オブ 5 有効

マトリクス 2 オブ 5 無効

コード 128

コード 128 有効

コード 128 無効

コード 93

コード 93 有効

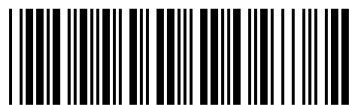
コード 93 無効

コード 11

コード 11 有効

コード 11 無効

MSI

MSI 有効

MSI 無効

UK PLESSY

UK PLESSY 有効

UK PLESSY 無効

TELEPEN

TELEPEN 有効

TELEPEN 無効

JAN/EAN 13 桁の詳細設定

JAN/EAN 13 桁チェックキャラクタの送信

チェックキャラクタを送信する

チェックキャラクタを送信しない

アドオンの設定

JAN/EAN 13 桁アドオン 5 桁 有効

JAN/EAN 13 桁アドオン 5 桁 無効

JAN/EAN 13 桁アドオン 2 桁 有効

JAN/EAN 13 桁アドオン 2 桁 無効

アドオン有効時、アドオン必須

アドオン有効時、アドオン必須にしない

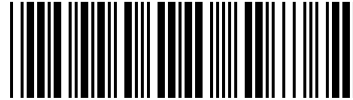
JAN/EAN 8 桁の詳細設定

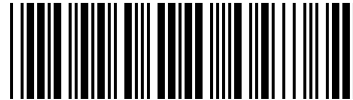
JAN/EAN 8 桁チェックキャラクタの送信

チェックキャラクタを送信する

チェックキャラクタを送信しない

アドオンの設定

JAN/EAN 8 桁アドオン 5 桁 有効

JAN/EAN 8 桁アドオン 5 桁 無効

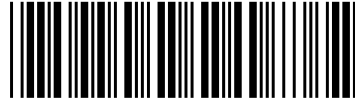
JAN/EAN 8 桁アドオン 2 桁 有効

JAN/EAN 8 桁アドオン 2 桁 無効

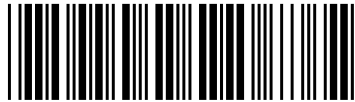
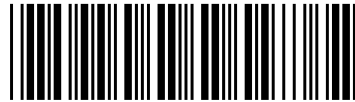
アドオン有効時、アドオン必須

アドオン有効時、アドオン必須にしない

UPC-A の詳細設定

UPC-A チェックキャラクタの送信

UPC-A チェックキャラクタを送信する

チェックキャラクタを送信しない

UPC-A 先頭キャラクタの送信

先頭キャラクタを送信する

先頭キャラクタを送信しない

アドオンの設定

UPC-A アドオン 5 桁 有効

UPC-A アドオン 5 桁 無効

UPC-A アドオン 2 桁 有効

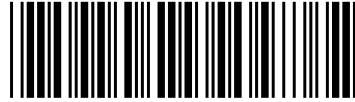
UPC-A アドオン 2 桁 無効

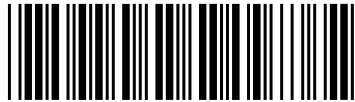
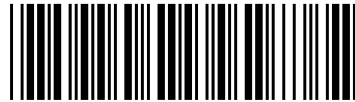
アドオン有効時、アドオン必須

アドオン有効時、アドオン必須にしない

UPC-E の詳細設定

UPC-E チェックキャラクタの送信

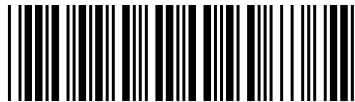
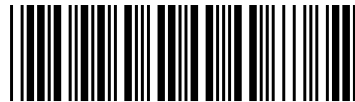
チェックキャラクタを送信する

チェックキャラクタを送信しない

UPC-E 先頭キャラクタの送信

先頭キャラクタを送信する

先頭キャラクタを送信しない

先頭が 0 の UPC-E の読取り

先頭が 0 の UPC-E 有効

先頭が 0 の UPC-E 無効

先頭が 1 の UPC-E の読取り

先頭が 1 の UPC-E 有効

先頭が 1 の UPC-E 無効

アドオンの設定

UPC-E アドオン 5 桁 有効

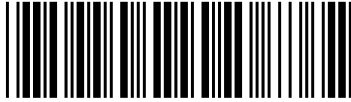
UPC-E アドオン 5 桁 無効

UPC-E アドオン 2 桁 有効

UPC-E アドオン 2 桁 無効

アドオン有効時、アドオン必須

アドオン有効時、アドオン必須にしない

JAN/EAN/UPC 変換

UPC-E→UPC-A 変換

UPC-E→UPC-A 変換 有効

UPC-E→UPC-A 変換 無効

UPC-A→EAN 13 桁変換

UPC-A→EAN 13 桁変換 有効

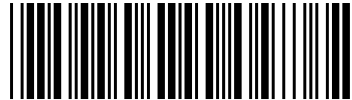
UPC-A→EAN 13 桁変換 無効

JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換

JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換 有効

JAN/EAN 13 桁→ISBN 変換 無効

JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換

JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換 有効

JAN/EAN 13 桁→ISSN 変換 無効

コード 39 の詳細設定

フル ASCII 変換

フル ASCII 変換する

フル ASCII 変換しない

スタート／ストップキャラクタ（＊：アスタリスク）の送信

送信する

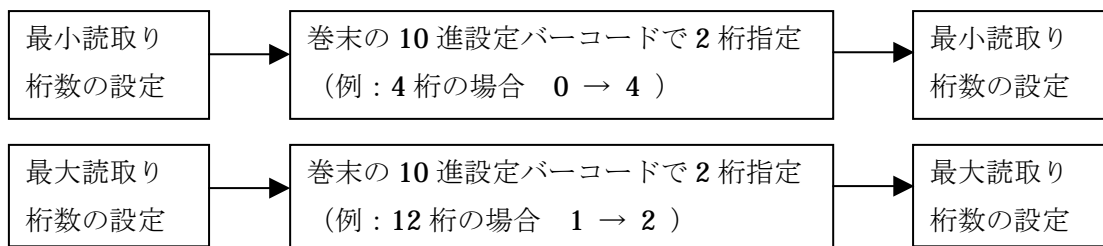
送信しない

チェックキャラクタ

チェックキャラクタ照合しない

チェックキャラクタ照合して送信

チェックキャラクタ照合するが送信しない

コード 39 読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

１．『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。

２． 巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。

３． 再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

コード 39 最小読取り桁数の設定
（初期設定値：01）

コード 39 最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

コーダバー（NW7）の詳細設定

スタート／ストップキャラクタの送信

送信する

送信しない

スタート／ストップキャラクタのフォーマット

A,B,C,D/ A,B,C,D

a.b.c.d/a.b.c.d

A,B,C,D/ T.N.*.E

a.b.c.d/t.n.*.e

チェックキャラクタ

チェックキャラクタ照合しない

チェックキャラクタ照合して送信

チェックキャラクタ照合するが送信しない

コーダバー読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

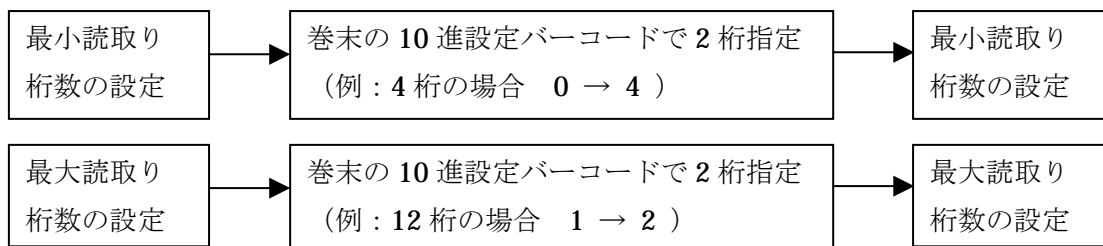
1．『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。

2．巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。

3．再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。

※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

コーダバー最小読取り桁数の設定
（初期設定値：06）

コーダバー最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

インタリーブド２オブ５の詳細設定

チェックキャラクタ

チェックキャラクタ照合しない

チェックキャラクタ照合して送信

チェックキャラクタ照合するが送信しない

インタリーブド２オブ５読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

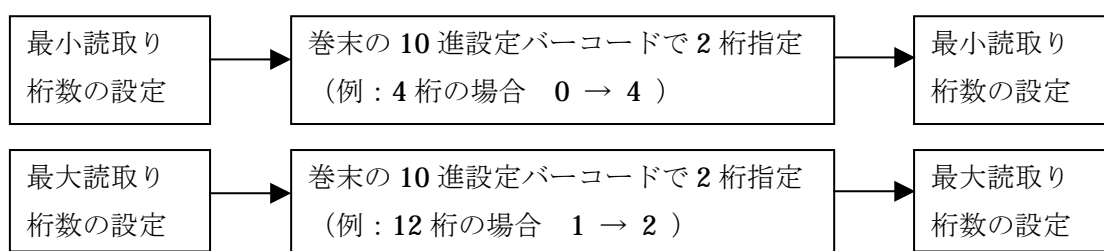
１.『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。

２．巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。

３．再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※　最大読取り桁数も、同様に設定します。

※　最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。

※　最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

Int25 最小読取り桁数の設定
（初期設定値：06）

Int25 最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

インダストリアル２オブ５の詳細設定

チェックキャラクタ

チェックキャラクタ照合しない

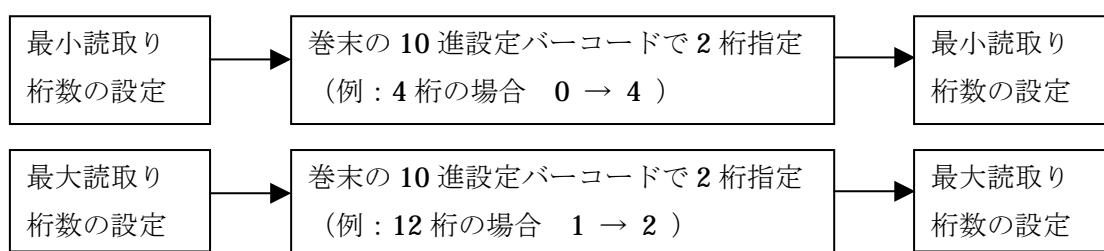
チェックキャラクタ照合して送信

チェックキャラクタ照合するが送信しない

インダストリアル２オブ５読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1．『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2．巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。
3．再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※　最大読取り桁数も、同様に設定します。
※　最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。
※　最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

Ind25 最小読取り桁数の設定
（初期設定値：06）

Ind25 最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

マトリクス２オブ５の詳細設定

チェックキャラクタ

<u>チェックキャラクタ照合しない</u>

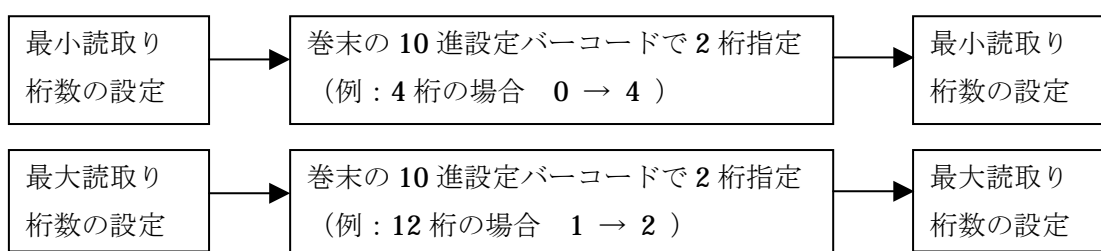
チェックキャラクタ照合して送信

チェックキャラクタ照合するが送信しない

マトリクス２オブ５読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1．『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2．巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。
3．再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。
※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。
※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

M25 最小読取り桁数の設定
（初期設定値：06）

M25 最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

コード 128 の詳細設定

UCC/EAN-128

<u>UCC/EAN-128 有効</u>

UCC/EAN-128 無効

UCC/EAN-128 の AI に括弧を付加して出力

括弧を付加する

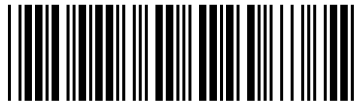
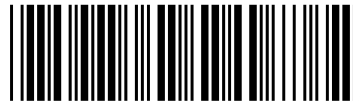
<u>括弧を付加しない</u>

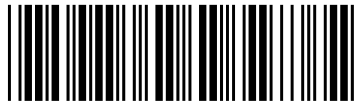
UCC/EAN-128 の AI を削除して出力

AI を削除する

<u>AI を削除しない</u>

※ この項目は、前項『UCC/AEN-128 の AI に括弧を付加して出力』で『括弧を付加する』に設定しているときのみ有効です。

UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 出力

FNC1 出力する

FNC1 出力しない

UCC/EAN-128 データ区切り FNC1 を任意のキャラクタへ置換え

FNC1 キャラクタ置換え

設定手順：

1．『FNC1 キャラクタ置換え』バーコードを読取ります。
2．巻末の『コード 39 フル ASCII バーコード』で、設定したいキャラクタを 1 文字読取ります。
3．再び『FNC1 キャラクタ置換え』バーコードを読取ると設定完了です。

置換えキャラクタをデータサフィックスに設定

AI を取り除き、前項で設定したキャラクタを各データの末尾に付加することができます。

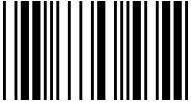
データサフィックスに設定する

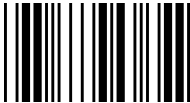
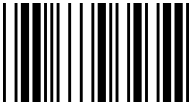
データサフィックスに設定しない

コード 128 読取り桁数の設定

設定手順：最小読取り桁数を設定する場合：

1．『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ります。
2．巻末の『10 進設定バーコード』で、設定したい桁数を 2 桁で読取ります。
3．再び『最小読取り桁数の設定』バーコードを読取ると設定完了です。

※ 最大読取り桁数も、同様に設定します。
※ 最小桁数と最大桁数とを同じ桁数に設定すると、固定桁数に設定できます。
※ 最小桁数を最大桁数より大きく設定したり、最大桁数を最小桁数より小さく設定しないようご注意ください。

コード 128 最小読取り桁数の設定
（初期設定値：05）

コード 128 最大読取り桁数の設定
（初期設定値：48）

コード 39 フル ASCII バーコード

	ACK
NUL	BEL
SOH	BS
STX	HT
ETX	LF
EOT	VT
ENQ	

（続き）

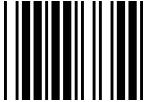
（続き）

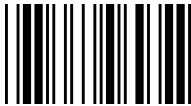
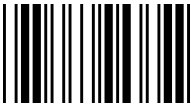
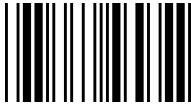
（続き）

	*
$	+
%	,
&	-
‘	.
(	/
)	

（続き）

	6
0	7
1	8
2	9
3	:
4	;
5	

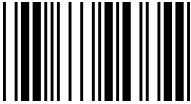
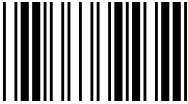
（続き）

（続き）

	N
H	O
I	P
J	Q
K	R
L	S
M	

（続き）

	Z
T	[
U	¥
V	]
W	^
X	_
Y	

（続き）

	f
`	g
a	h
b	i
c	j
d	k
e	

（続き）

（続き）

	~
x	DEL
y	
z	
{	
|	
}	

10 進設定バーコード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

日栄インテック株式会社

バーコード営業部

〒116-0011　東京都荒川区西尾久 7-57-8
TEL 03-3810-9045　FAX 03-3810-9065
E-Mail　info@barcode.ne.jp

URL　http://www.barcode.ne.jp/